

ウオダス 漁海況速報 No. 1762



発行日 平成24年2月21日 <http://www.aomori-itc.or.jp>
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

3月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	19	20	⑳	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○対馬暖流の勢力は平年並み
 (2月日本海観測結果)
 ○平成23年度の大型クラゲ出現
 数は平成14年度以降最低水準

小 泊 (2月16~20日)

マダイ刺網	9隻	991.0kg
ウスメバル釣り	4隻	142.0kg
アブラツノザメ刺網	12隻	7,882.0kg

下 前 (2月16~20日)

ウスメバル釣り	1隻	6.2kg
---------	----	-------

鱒ヶ沢 (2月16~20日)
 データ取りまとめ中

大 戸 瀬 (新深浦) (2月16~20日)

ヤリイカ定置網	13隻	56.9kg	
(14,916.7kg)	底建網	262隻	14,859.8kg
マダイ定置網	1隻	0.3kg	
(31.2kg)	底建網	50隻	30.9kg
クロマグロ底建網	2隻	4.8kg	
ブリ定置網	15隻	1,745.3kg	
(2,021.9kg)	底建網	32隻	276.6kg
ウスメバル底建網	113隻	52.0kg	
マダラ定置網	7隻	75.6kg	
(1,394.9kg)	底建網	132隻	1,319.3kg
サバ類定置網	5隻	13.3kg	
(440.4kg)	底建網	51隻	427.1kg
サクラマス定置網	22隻	389.7kg	
(491.4kg)	底建網	11隻	101.7kg
アブラツノザメ底建網	1隻	11.0kg	

三 厩 (2月16~20日)

ヤリイカ定置網	23隻	100.0kg
ウスメバル釣り	2隻	106.0kg
アブラツノザメ延縄	3隻	1,195.0kg

深 浦 (2月16~20日)

スルメイカ底曳網	1隻	5.0kg	
ヤリイカ定置網	3隻	17.7kg	
(1,149.1kg)	底曳網	6隻	1,131.4kg
マダイ定置網	2隻	2.2kg	
(4.5kg)	底曳網	2隻	2.3kg
ブリ定置網	7隻	1,953.7kg	
ウスメバル底曳網	2隻	2.8kg	
(49.6kg)	刺網	6隻	46.8kg
マダラ定置網	5隻	61.7kg	
(256.1kg)	底曳網	7隻	100.2kg
	刺網	5隻	94.2kg
マイワシ底曳網	2隻	96.0kg	
サバ類定置網	2隻	14.5kg	
サクラマス定置網	9隻	138.8kg	
イカナゴ底曳網	1隻	12.0kg	
ハタハタ底曳網	2隻	48.0kg	

沢 辺 (新深浦) (2月16~20日)

ヤリイカ底建網	5隻	271.5kg	
ウスメバル底建網	3隻	4.0kg	
(8.9kg)	刺網	7隻	4.9kg
マダラ底建網	4隻	306.0kg	
(390.0kg)	刺網	15隻	84.0kg
サバ類底建網	2隻	20.9kg	

平 館 (外ヶ浜) (2月16~20日)

定置網	13隻	
ヤリイカ		107.0kg
マダラ		113.7kg
サクラマス		31.0kg

佐 井 (2月16~20日)
 データ取りまとめ中

大 畑 (2月16~20日)

ヤリイカ定置網	8隻	65.4kg	
(74.2kg)	底建網	4隻	8.8kg
ブリ定置網	7隻	10.6kg	
(11.3kg)	底建網	1隻	0.7kg
ウスメバル釣り	1隻	0.6kg	
(2.0kg)	底建網	2隻	0.4kg
	刺網	1隻	1.0kg
マダラ定置網	2隻	7.0kg	
(46.8kg)	底建網	8隻	39.8kg
マイワシ定置網	1隻	88.0kg	
サバ類底建網	1隻	0.3kg	
サクラマス釣り	58隻	663.6kg	
(709.1kg)	定置網	7隻	45.5kg
サケケ定置網	1隻	5.0kg	

尻 労 (2月16~20日)

ウスメバル釣り	4隻	72.0kg
サクラマス釣り	8隻	84.0kg

白 糠 (2月16~20日)

ウスメバル釣り	194隻	88.0kg
マダラ釣り	194隻	555.9kg
サクラマス釣り	194隻	4,739.7kg

三 沢 (2月16~20日)

マダラ刺網	1隻	1.2kg
-------	----	-------

八 戸 (2月16~20日)
 対象魚種漁獲なし



沿岸各地の水温

(2月16～20日)

日本海 3～6℃台 津軽海峡 4～6℃台
 陸奥湾 1～8℃台 太平洋 4～6℃台

今回の平均前回差は+0.1度となりました。

前年と比べると、津軽海峡でなはだ低め、日本海、太平洋でかなり低め、陸奥湾でやや低めとなり、平均前年差は-1.5度となっています。

平年と比べると、陸奥湾ではなはだ低め、津軽海峡、太平洋でかなり低め、日本海でやや低めとなり、平均前年差は-1.7度となりました。

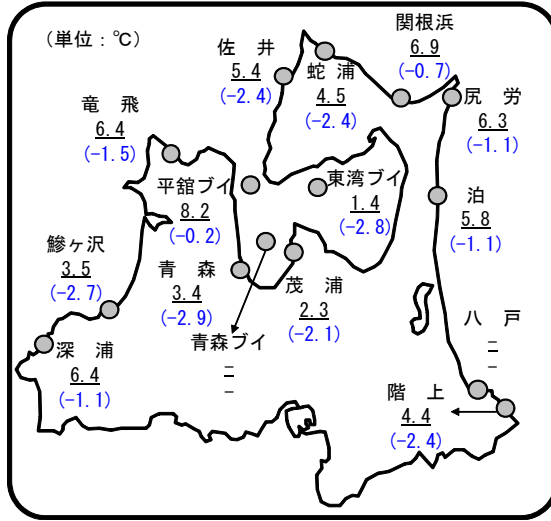


図 定地水温(2月16～20日)
 平均値(前年差)ブイ1m

表 沿岸各地の水温(2月16～20日) (単位:℃)

		水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	6.4	+0.1	-0.6	-1.1
	鱒ヶ沢	3.5	+0.9	-2.9	-2.7
	平均	4.9	+0.5	-1.8	-1.1
津軽海峡	竜飛	6.4	-0.1	-2.9	-1.5
	佐井	5.4	-0.1	-2.9	-1.5
	蛇浦	4.5	-1.9	-2.6	-2.4
	関根浜	6.9	-0.0	-1.2	-0.7
	平均	5.8	-0.5	-2.4	-1.5
陸奥湾	青森	3.4	-0.2	-0.8	-2.9
	茂浦	2.3	+0.6	-1.3	-2.1
	平館ブイ	8.2	-0.2	+1.0	-0.2
	青森ブイ	-	-	-	-
	東湾ブイ	1.4	-0.3	-1.6	-2.8
平均	3.8	-0.0	-0.7	-2.0	
太平洋	尻労	6.3	+0.9	-0.9	-1.1
	泊	5.8	+1.3	-1.0	-1.1
	八戸	-	-	-	-
	階上	4.4	-0.4	-2.8	-2.4
	平均	5.5	+0.6	-1.6	-1.5
全体平均	5.0	+0.1	-1.5	-1.7	

※平成21年4月から鱒ヶ沢の観測位置が変わりました。
 ※平均の前年差には鱒ヶ沢は含まれません。

太平洋の海況(2月19日～20日)

概況: 沿岸水温は6℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

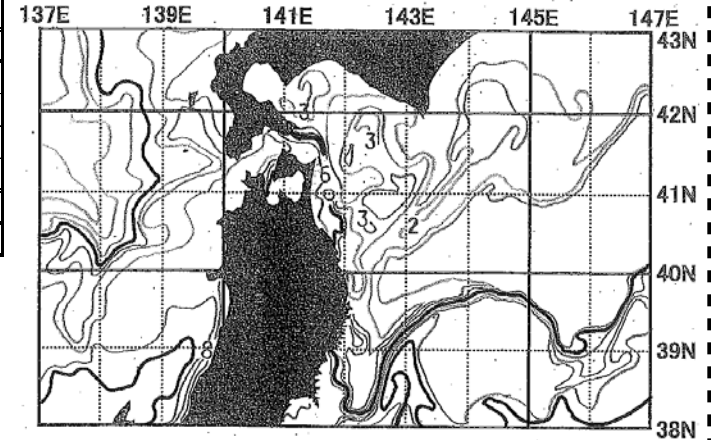
前回と比べてわずかに降温しています。前年同期と比較すると1度ほど低い水温となっています。

日本海の海況(2月19日～20日)

概況: 沿岸水温は8℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べてわずかに降温しています。前年同期と比較するとわずかに低い水温となっています。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター
 北部太平洋海況速報 第91号 2月21日発行 (表面水温分布)

○海洋観測情報

試験船開運丸は2月13～14日、日本海において2月分の沿岸定線観測を行いました。その結果は下表のとおりで、表面の最高水温はやや低め、50m層及び100m層の最高水温はかなり低めとなっていました。しかし、対馬暖流の水塊深度はやや深め、北上流量もかなり多めとなっており、対馬暖流の勢力としては平年並みだったものと思われました。

対馬暖流流勢指標2月

2月13～14日: 開運丸

観測項目	2008	2009	2010	2011	2012	平年差	平年比	
各層最高水温(℃)	0m	9.6	11	10	-	9.7	-0.51	-71
	50m	10.32	11.29	10.38	-	9.38	-1.18	-146
	100m	10.2	11.3	10.27	-	9.43	-1.06	-144
流幅(マイル)	舩作線	36.8	84.1	46.4	-	48.6	+3.1	+20
	十三線	33.6	26.1	70.8	-	58.8	+2.1	+11
水塊深度(m)	193	204	229	-	219	+22	+92	
北上流量(Sv.(10 ⁶ m ³ /s))	2.13	1.55	3.58	-	3.40	+0.84	+141	

○平成23年度の大型クラゲの出現状況のまとめ

まとまった出現はありませんでした。全国で報告された個体数は出現の少なかった22年度よりさらに少ない251個体。22年度は1359個体。最も少なかった

20年度をさらに下回り、事業開始以来最低となりました。過去の出現状況をみると、平成14年、15年はかなりの出現、16年は少量出現、17年は激しく出現、18年はかなり出現、19年はやや出現、20年はほとんどなし、21年は過去最高水準で出現、22年は少量出現、23年はほとんどなしでした。2年続けて出現が少ない状況ですが、今のところ来年度は出現予測が立っていません。早い時期の東シナ海から山陰沖での情報に注意してください。(社) 漁業情報サービスセンターの情報を参考にしました)